

開発建設部

仕事の
窓

6

充実した教育訓練施設を目指して

～新たな再配置計画を考慮した施設整備～

Point

沖縄総合事務局では、所管事業は基より各省・各庁から委託を受けて県内の官庁施設の整備も行っており、今回の沖縄県警察学校射撃場については警察庁より委託を受け、必要な施設機能の確保を図りつつ、新たな再配置計画を考慮した施設整備を行っています。

整備の背景

沖縄県警察学校は、警察官の新任者に対する教育訓練を行うほか、幹部教養等も行う施設です。教育訓練施設のひとつである既存射撃場は築後三十年以上が経過し、老朽化が著しく訓練に支障をきたしていることから現地での建て替えを行うこととなりました。

建て替えに当たっては、複雑な敷地の形状、既存施設の配置を踏まえ、明快で利用し易い配置計画が求められ、また、特殊技能を磨く場であるため空調方式を始めとして一般建築物とは異なった要求性能の実現など課題が多く、限られた予算の中でのコスト配分に十分留意しながら要求される性能を満足させる

必要がありました。

これらを踏まえ、新しい射撃場が警察官の教育訓練の一助となり、豊かな人間性も育める施設づくりを目標とし整備を行いました。

設計主旨

やんばるの入り口である石川岳を北に望む豊かな敷地環境を活かし、木立を連想させる規則正しく並んだリブ柱による構造とし、背景の自然に溶け込みながら警察官の教育訓練施設としての毅然とした力強さと軽快なリズム感をもつ意匠設計とし、外装は沖縄に根付いた材料であるコンクリートを基本として、今後、順次立て替えられていく他の施設を先導するデザインと

しています。また、建物の圧迫感を押さえるため出来るだけ軒高を低くし、設備室など必要な部分だけを越屋根状に高くした構成としました。

大空間である基本射撃場は、天井裏に耐震ブレースを設置し、設備についても構造二次部材により補強を行い耐震性能を確保しています。

配置計画は、敷地を南北に貫き施設全体を統合する背骨のような軸線を設定し、これに沿って他の建物と平行に配置しました。また、長寿命かつ再生可能なエコマテリアルを内装に使用すると共に、雨水の地下還元を考慮して透水性アスファルト舗装を採用し地球環境に配慮しています。



施設概要

場 所 / 沖縄県うるま市字石川 3 4 0 2

整備対象 / 沖縄県警察学校 射撃場

敷地面積 / 33,750㎡

延べ面積 / 1,933㎡

規模構造 / 地上2階、鉄筋コンクリート造